

＜社会福祉法人みゆき福祉会 地域密着型特別養護老人ホームながすずの里 様＞

上映日:2018/02/08(木)・11(日) 場所:地域密着型特別養護老人ホームながすずの里 地域交流ホール(山形県上山市)



会場外観



ウェルカムボードと会場の様子

上映会に参加された地域の方が、後日施設にボランティアに来てくださいました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

毎月開催している「かみのやまカフェ(認知症カフェ)」で認知症介護に関するさまざまな情報発信を行っており、2月の「かみのやまカフェ」として『ケアニン』上映会を企画しました。事前に11月に他会場で観させていただき、『ケアニン』のやさしく熱いメッセージを一人でも多くの地域の方々・介護関係者に届けたいという思いで取り組みました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

かみのやまカフェ担当職員(小規模多機能型居宅介護事業所の管理者と介護職員)、事務室内の職員(事務員、管理栄養士、介護支援専門員3名、生活相談員、施設長)です。

●協力の得られた団体はありましたか？

運営推進会議で協議し、ご家族、地区会、行政等から協力をいただきました。また、認知症地域支援推進員(上山市地域包括支援センター)からもサポートいただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

当施設の地域貢献活動費(かみのやまカフェ活動費)と職員研修費から支出しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

上山市健康推進課へ依頼し市報に掲載していただきました。また、かみのやま医療介護施設連携連絡会のメール連絡網にて市内の施設へ配信しました。他にも、地元の高校・中学を訪問しポスターを貼っていただいたり、近隣地区へ回覧板にてチラシ回覧していただいたり、当法人のホームページに掲載したりしました。近所のケーキ屋さんもポスターを貼ってくれました。口コミで次第に申し込みが増えて、149名と予想を上回る参加者となりました。上映を検討する他団体の方々も複数来所されました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

上映会終了後、『ケアニン』を観た地域の方が施設にボランティアに来てくださいました。また、介護職員の表情と雰囲気が変わったように感じます。

『ケアニン』を観た後は、すぐに言葉で整理することはしませんでした。それぞれの「感動」を大切に胸に抱いてもらえたらと思いました。今後、研修会等で少しずつ『ケアニン』のメッセージについて一緒に考える機会を作れば、と考えます。

職員からの「よい映画だったでは済ませないで、一人でも多くの笑顔に出会えるようにしていきたい」「あしたからまた頑張ります」との声は、本当にうれしく思いました。一人ひとりの心に感動とともに大切なメッセージを残してくれたと思います。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

介護に関わる一人でも多くの人に観ていただきたい作品です。

ご担当者:森谷誠さん、舟越正一さん

社会福祉法人みゆき福祉会
<http://miyuki-fukushi.jp/>
山形県上山市と河北町にて特別養護老人ホーム、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、居宅介護支援事業所など運営しています。